

私達が創ろうとする「地域で支え合う仕組みづくり」

竹田津地区と上国崎地区の2地区の結論は、まず地域にみんなで集まれる居場所をつくり、人が多く集まることで「地域で支え合う仕組みをつくる」ことでした。2地区がこれから創り出そうとする「国東市地域支え合い活動推進事業」をご紹介します。

	竹田津地区	上国崎地区
地区名		
名称	竹田津くらしのサポートセンター「かもめ」	サポートセンター「あらたにカフェ」
対象地域	竹田津地区全域	上国崎地区全域
居場所	竹田津地区公民館	あらたにふれあい館
コミュニティカフェ	開催日時：毎月第2・第4火・水・木曜日の午後1時～午後3時 利用者：どなたでも利用可能 おもてなし：美味しいコーヒーあります。	開催日時：毎月第1～第4の火・水・木・金曜日の午前9時～正午 利用者：どなたでも利用可能 おもてなし：美味しいコーヒーあります。
手作りランチサービス日	開催日時：毎月第2、第4木曜日の午前10時～午後1時(有料・要予約) 特典：利用した方には、自宅から公民館までの送迎等の実施を考えています。	開催日時：毎月第1、第3木曜日の午前9時～午後3時(有料・要予約) 特典：利用した方には、自宅からあらたにふれあい館までの送迎等の実施を考えています。
設立総会	12月17日	12月3日

※事業の内容は、実施していく中で見直し・発展していくので、確定したものではありません。

国東市地域支え合い活動推進事業が始まるにあたって



竹田津地区 会長
坂口 弘道 さん

高齢社会が進む中で、高齢者の孤立が深刻になっていきます。高齢者にとって必要なのは、「居場所」と「出番」です。人は「出番」があれば「生きがい」につながります。「支え合い」の中で、お互いの足りない部分を補っていき、しかも、保・幼・小学校との交流を深めながら多世代交流の地域づくりにつなげていきたいと考えています。



上国崎地区 会長
野田 敏廣 さん

設立までに一番嬉しかったことは、聞き取り調査で地区の方に協力していただき、100%の地区民の意見をまとめることができたことです。これからは、支えられる人も支える人もみんなで楽しめるように取り組んでいきたいと考えています。



竹田津地区と上国崎地区の2地区で始まった住民主体の「国東市地域支え合い活動推進事業」が、地域の支え合う仕組みづくりとして、市内全域に広がっていき、高齢化が進む国東市で、「いつまでも住み慣れた地域で明るくいきいきと暮らしていける」状況が続いていくことを願っています。

外から見たモデル地区



大分大学工学部の14名の学生が、地域で支え合う仕組みづくりをしている上国崎地区を10月14日と15日の2日間訪れました。

10月14日

大分大学工学部の学生は、4班に分かれて上国崎地区内を散策し、地元の人とふれあいながら、上国崎地区の中にある活用できる資源を探りました。



10月15日



大分大学工学部の学生は、地元の方々とランドゴルフで交流した後、地域で支え合う仕組みづくりの拠点となる「あらたにふれあい館」を視察し、施設の利用しやすくなる方法を探りました。

11月7日

大分大学工学部の学生は、交流してから3週間後、「上国崎地区の魅力再発見 まちづくり提案発表会」を上国崎地区公民館で開催しました。

学生は、2日間の滞在中に感じた上国崎地区の魅力、活用できる資源、拠点施設となる「あらたにふれあい館」を有効に利用するための改善策を提案しました。

発表会に集まった地元の方々は、学生が語る上国崎地区の魅力に熱心に耳を傾けていました。



この発表会で
提案された「空き家の活用や他地域から人を呼べるイベントの開催」などの意見も、上国崎地区の国東市地域支え合い活動推進事業に取り入れられました。

